

子宮頸がんが増えています

文／多古中央病院 小児科 齊藤 匡



子宮頸がんはヒトパピローマウイルス（HPV）に感染することによって発生する女性に特有のがんです。女性のがんに占める割合は、20代では子宮頸がんは第5位（全がんの9%）ですが、30代では第1位（同13%）になります。

HPVに感染してから子宮頸がんが発生するまでには数年かかりますので、ちょうど結婚や妊娠をきっかけにHPVに感染し、出産して子どもを育てている間にがんが発生することになります。子宮頸がんは検診を受けて早期に発見できれば命を落とすリスクは低くなりますが、命を守るためには子宮の一部や全部を手術で摘出する必要があります。



HPVに感染することを防ぐため欧米では2006年からワクチン接種が始まりました。それが子宮頸がん予防ワクチン（HPVワクチン）です。日本でも2009年から接種開始されましたが、副反応を過大視する声がマスコミなどによって拡散され、接種が事実上中止となつてしまいました。しかしその後、副反応と思われる症状はHPVワクチンとは無関係であることが証明された

ため、2022年から接種が再開されました。現在、大きな問題となつていのは小児期にHPVワクチンを接種せずに成人した女性の方たちの間で子宮頸がんが増加していることです。そしてさらに重大な問題は、「自分がかんにならない」と思っている方が非常に多いことです。幼い子どもを残して母親が先に逝く日を想像してください。そしてHPVワクチンを接種してください。

☎(76)2211

多古中央病院から

俳句

文芸コーナー

※多古町俳句会では会員を募集しています。

寝ころべば土手柔らかし春の雲
あの年の桜を見ずに吾子逝けり
戦跡の草深き道山つつじ
満開の夜桜映す水鏡
花雲り利根一望の丘に立つ
ぼんぼりの照らす夜桜河染めて
散歩する犬の鼻先つつじ咲く
初蝶や発表会の待ち時間
思ひ出す四月の朝の一年生

短歌

※短歌の作成者名は雅号を使用しており実名と異なる場合があります。

物売りの青年をきつぱり断るも驟雨にしばし軒を貸したり
寝る前に飲む一粒の誘眠剤明日へとつなく我が命綱
鴉追ふと風を待ちみるカイトの目畑の真中に時をり光る
カレンダーは菜の花の道弥生から花を灯して卯月へ続く
戸を開けて飛び去る小鳥を目で追うに鳩かもしれず鴉かもしれず
人の世は一十一が二にならず個性のままに生きるは難し
五十年編笠百合は庭隅に今も咲きつぎ吾は白髪

町長日誌

(4月1日～30日)

主な活動



| | | |
|-----|---|-----|
| 1日 | 五辻稻荷神社祭り | |
| 2日 | 習志野駐屯地創立72周年・第1空挺団創立65周年記念行事 | |
| 3日 | 辞令交付式【写真①】 新規採用職員への講話 町内小中学校管理職来庁 地域おこし協力隊委嘱式 消防多古分署長来庁 | |
| 6日 | 千葉銀行多古支店長来庁 | |
| 7日 | 多古高校入学式 多古幹部交番・消防多古分署訪問 東総衛生組合事務局長来庁 国土交通省成田空港事務所空港長来庁 | 写真① |
| 10日 | 多古中学校入学式 ANA成田空港支店長来庁 地域おこし協力隊(教育分野)委嘱式 | |
| 12日 | 環境衛生組合事務局長来庁 千葉地方法務局匝瑳支局長来庁 | 写真② |
| 14日 | 退職校長会総会 八日市場青年会議所創立55周年記念式典 | |
| 19日 | 千葉県総合企画部長来庁 民生委員児童委員協議会総会 | |
| 20日 | 匝瑳高校校長来庁 千葉県総合企画部次長来庁 成田赤十字病院院長来庁 ANA来庁 | |
| 25日 | 広報協力員委嘱式 保護司会総会 | 写真③ |
| 26日 | 京葉銀行法人営業部来庁 第1回区長会議【写真②】 | |
| 27日 | JALCARGO来庁 多古町教育研究協議会総会 両総土地改良区監査 | |
| 28日 | 千葉県内女性首長懇談会【写真③】 | |

あっぱれ優拍手に

中学校

- 県中学校卓球選手権郡市予選会
男子団体3位 卓球部
女子団体3位 卓球部
- 県中学校バスケットボール選手権郡市予選会
男子優勝 バスケ部
女子3位 バスケ部
最優秀選手賞 有田源輝
優秀選手賞 多田真忠介、平山優空
- 北総陸上競技大会
男子砲丸投げ1位 高橋涼大朗
女子100m 3位 山崎蒼海
女子200m 1位 山崎蒼海
女子1500m 2位 佐藤芽以
- 郡市春季野球大会
優勝 野球部
最優秀選手賞 清水龍志
- 全日本ヒルズ国際ジュニア選手権予選会(ゴルフ)
総合優勝 飯田愛穂



新しい 民生委員・児童委員のご紹介

4月1日より、民生委員・児童委員が一部変更となりました。よろしくお願ひします。

【島・広沼地区】 宇井 弘一
【十余三地区】 野口 弘美

町長 Column -コラム-



初夏の多古町を彩るあじさい。あじさいの魅力は、水色、紫、ピンク、白などさまざまな色があることもその一つではないでしょうか。そして、多古町のあじさい祭りの魅力といえば、栗山川のロケーションの中で咲くあじさいに加え、「竹コースター」や「さつぱ舟」「テント出店」、さまざまなイベントなど、町民の皆さまが一体となって創り上げているところにあると思います。それによって生まれる「人と人との交流」「一体感」も大きな魅力です。

昨年は、3年ぶりに復活した竹コースターに乗りましたが、スリル満点で、本当に楽しかったです。また、遊歩道から見るとあじさいも美しいですが、栗山川の川岸一面に咲くあじさいを、「さつぱ舟」から見るのも、大変見応えがありました。5月6日には、東京駅であじさい祭りのPRを行いました。町民の皆さまが楽しめるだけでなく、多くの人に多古町の魅力を知っていただくイベントを創っていきたいと思います。